

家庭学習の手びき（保護者用）

森の里小学校では

全校で「家庭学習に取り組むこと」を確認し、全学級で家庭学習の取り組みを支援しています。

低学年・中学年・高学年ごとに、「時間のめやす」「学習のめあて」「学習内容」を例示し、その学年にふさわしい家庭学習についてまとめたプリント「家庭学習の進め方」を配布しますので、ご活用下さい。

また、家庭学習についての疑問やご質問などありましたら、懇談会等で積極的に話題にさせていただきたいと思えます。

ご家庭と学校が協力して、望ましい家庭学習の習慣を定着させましょう。

1. 家庭学習で目指す「子どもの姿」

- ①家庭での学習習慣を身につけた子ども
- ②自発的に学習する習慣が身についた子ども
- ③家庭でも学校でも同じように学び続ける子ども
- ④基礎基本を身につけ、自分の成長を実感できる子ども



期待できる家庭学習の効果

- 家庭での学習習慣が身につけ、自ら学ぶ子どもが育ちます。
- 決まった時刻に、決まった時間学習することで、家庭での望ましい生活リズムをつくります。
- 一定の時間、机に向かうことで、落ち着いて学習する姿勢が育ちます。
- 毎日の予習・復習、繰り返し練習をすることにより、学力が向上します。
- 勉強の仕方、ノートの作り方など、自分の学習スタイルが確立し、中学校、高校での学習にも役立ちます。
- 発想力や想像力が豊かになり、自分で見つけた課題を自分で解決できる子どもが育ちます。

2. 家庭学習の取り組み方

①「宿題」があるときは、まず最初に「宿題」に取り組めます。文字は丁寧に書くことが大切です。

②低学年は

時間に余裕があるときは「家庭学習の手びき（児童用）」の中から選んで学習します。気持ちが勉強に向かないときは、読書や折り紙などでもかまいません。「毎日机に向かう習慣づくり」が大切です。

③中・高学年は

「家庭学習の手びき（児童用）」のほか、自分で課題を考えて、できるだけ毎日取り組むことが大切です。

3. 家庭学習における保護者の役割

①学習時間の確保

少年団活動や習い事など、子ども達も忙しいと思いますが、短い時間でも「必ず机に向かう習慣」を身につけさせたいものです。「何時から何時まで勉強する」ということを家庭で話し合っ、無理のないように毎日の学習時間を決めて取り組めるといいですね。

※学習時間の目安 「学年×10分+10分」

<例>3年生 $3 \times 10 + 10 = 40$ 分以上

②学習環境の整備

お子さんが落ち着いた学習環境で学習に取り組むことができるよう、「テレビを消す」など、各家庭で工夫したり、話し合ったりして下さい。

③見届け・励まし

「できるようになったね。」「がんばったね。」と家族からのほめ言葉、励ましの言葉でやる気が向上します。お子さんが学習したものに目を通したり、コメントを書いてあげたり、ハンコを押したり、シールを貼ったりしてあげるのもよいです。また、お子さんと一緒に学習に取り組むことも、学習の様子を把握するためのよい方法のひとつです。



家庭学習の考え方

- < 学習の約束 > ●学習に向かう心構えをしっかりとつくる
- < 学習時間の確保 > ●学習時間を決めて、毎日取り組む
- < 学校と家庭の連携 > ●家庭学習の取り組み方を理解する
- < 学習環境の整備 > ●「ながら勉強」をしない、させない
- < 続けることで自分流 > ●しつけから自主・自立学習へ
- < 規則正しい生活 > ●十分な睡眠、朝食を必ずとる習慣、
テレビやゲームのルールづくり
- < 親子の触れ合い > ☆「がんばり」をほめ、励ます
☆子どもがいつでも質問できるように
☆親子の触れ合いの場として活用
(読み聞かせ、対話など)